結い　だより

第７１号
発行
社会福祉法人　結い
〒703-8255
岡山市中区東川原18-1　203
TEL　086-206-7385
FAX　086-206-2801
発行責任者
前田　勝子

きょうされん

第46回　全国大会（in埼玉）に参加して

さけぼう 命の尊さ いだこう 人権の重み
つなごう 平和への願い

わたしらしくあなたらしく生きられる社会を

大勢のボランティアさんに驚き！

８月３０日、３１日厳しい残暑の中、全国から障害のある方１３００人が参加されていました。

結いからは、ワークハウス・わくわく！から利用者１名、喜楽から利用者１名・職員１名の計３名が参加しました。

大宮駅に着いてびっくりしたのは、大勢のボランティアさんがいたる所に立っていたことです。気軽に話しかけることが出来て心強かったです。お陰で２日目の目的地にもスムーズに行くことができました。感謝しています。（喜楽　Oさん）

今年のスローガンは　熱い！！

本大会スローガンは　さけぼう 命の尊さ いだこう 人権の重み つなごう 平和への願い～わたしらしくあなたらしく生きられる社会を～」でした。大会関係者・参加者全員の熱い想いが凝縮されたメッセージで意気込みを感じました。

開会式後、文化企画会場に移動しステージから4グループの発表を楽しみました。ダンス・ロックバンド・自分達で作詞・作曲しトーク&ライブを行っているグループ等が、全身全霊で自分達の想いを表現し、観ている方も手拍子でリズムをとり拍手で応援し会場全体が一体となり圧巻のステージ！素晴らしい演奏に感動しました。

仕事と仲間に誇りを持って

２日目は浦和コミュニティに移動し、各分科会3会場で行われ、利用者交流会 はたらく」に参加しました。自己紹介を兼ねてどんな仕事をしているか?コロナの時どんな工夫をしていたか?工賃はどれくらいもらっているか等々一人ずつ発表していきました。「この作業所で、仕事と仲間に出会い自分の人生は一変し、毎日幸せを感じている。」仲間と協力し作業を終えてからのおしゃべりが今の私の生きがい。」等、皆さん自分の仕事と仲間に誇りを持っておられ、その姿に今大会一番感銘を受けました。

（喜楽　Nさん）

僕自身は、喜楽の仕事内容と工賃のことについて話しました。休憩中には他の事業所のパンフレットや仕事風景の写真を見せてもらいました。他にも弁当屋さんがありましたが、喜楽も負けていないなと感じました。

皆さん、希望を失わず一生懸命自分の仕事を頑張っていました。弁当やパン製造販売が思ったより多かったですが、毎日仕事を頑張り高い工賃をもらっている人の話を聞いて自分の頑張りにつながりました。

（喜楽　Oさん）

今大会に参加して改めて、今の作業所を働く場所だけでなく仲間と繋がる心地良い場所となるように頑張っていきたいと思いました。

参加して良かったです。

（喜楽　NさんとOさん）

新しいユニフォーム。気分も新たに頑張ります！！

喜楽の厨房では、衛生上の観点から全員にユニフォームを支給し、必ず着替えてから作業に入ってもらっています。異物混入防止や食中毒予防などのほかにも、全員で同じユニフォームを着て仕事をすることでチームとしての一体感を感じてもらう目的もあります。

そのユニフォームですが、３～４年前くらいから汚れが目立つようになってきました。すすや油汚れは落ちにくく、喜楽にある洗濯機では限界がありました。

厨房はコンロやフライヤーの火で夏場はエアコンをかけていても暑く熱中症の危険があり、縫い目や破れからのほつれも起きてきて、糸くず等の異物が弁当に混入するリスクが出てきました。

ユニフォームの新調を検討してきましたが、着替えも含めて２０着以上必要のため、喜楽の会計が赤字続きだったため見送られてきました。

しかし、今年になって後援会の皆様からの温かいご寄付を賜る事ができ、ついに喜楽の厨房ユニフォームを購入してもらえることになりました！

今回購入したのはいわゆるコックやシェフが着用するようなタイプではなく、大きな食品工場の作業員が使用するタイプを選びました。ボタンやスナップは外れた時に異物混入の原因となるため、ファスナーで前を止めるようになっています。

また生地もさらさらとしているため髪の毛やほこりがつきにくく、裾はメッシュ地で２重になっているため、体毛が外に落ちるのを防いでくれます。高温作業向けの「アクアクール」という素材を使用しており、ひんやりとした肌触りと吸汗・速幹性の白衣となっています。

ユニフォームが新しくなったことで、メンバーからは「かっこいい！！」「生地が気持ちいい」「これなら作業もがんばれそう」という声が上がっています。

喜楽では、これからクリスマスオードブルやおせち料理など、１年のうちで一番の稼ぎ時シーズンに入っていきます。新しいユニフォームで気分も新たに、皆で一丸となって仕事を頑張っていきたいと思います。

皆さん本当にありがとうございました。

（喜楽主任　中元）

結い後援会への新規加入と継続のお願い

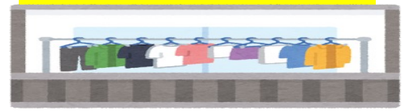
私達は、障害を持って生きていかなければならない人々へ、温かい行政と財政支援を要求するべく、今後も努力し続けます。しかし、私達の力だけでは微々たるものです。ぜひ「結い」後援会にご加入いただき、私達の活動を支えてくださいますようよろしくお願い致します。

また、２０２３年度分の会費未納の方につきましては、継続してご協力いただけますように何卒よろしくお願い申し上げます。

＜振込先＞　郵便振込口座　０１３６０－０－５７７５７
社会福祉法人「結い」後援会

今年も来てます。みなさん！　実習生さんお世話になりました。

ワークハウス・わくわく！



今年度のワークハウス・わくわく！では4月～10月までの期間6回に分けてソワニエ看護専門学校の3年生、7月に川崎医療福祉大学から1名、9月にも川崎医療福祉大学と岡山県立大学から1名ずつの合計3名の精神保健福祉士を目指す実習生さんを受け入れました。

※実習生を迎えて

精神保健福祉士をめざす学生は、毎日利用者の皆さんと各作業場で一緒に働き話を伺い、どのような困難を抱えているかを想像し、利用者さんの今後について利用者と共に考えてもらいました。

学生は、就労継続支援B型事業所について、学校で制度上の位置づけや役割について学んで来ていましたが実際に、わくわく！で働く利用者の工賃や働く場への考え方を聞いていく中で、利用者が地域で暮らすことや働くということにどのような意味や課題があるのか悩み考え続けた期間ではなかったかと思います。

実習終了後、学生から「一緒に過ごす中でむしろこちらが元気をもらっていた。癒されていた。」「支援とは必ずしも何か手を出すだけでなく場所作り、環境を整える事で活躍の場を作れることを知った。」などの感想が出てきました。学校では得られなかった驚きを受けたようです。

どの実習生も、就活や国家試験などが控えていますが、これらを無事に乗り越えて、同じ業界で活躍してくれる人材へと成長して欲しいと願っています。

所長　黒田）

Yショップ京都展示会研修に行ってきました。

9月20日(水)、京都市内で山崎製パン株式会社主催の展示会が開催され、Yショップで働いている7名の利用者と同行職員1名の計8名で参加してきました。

新型コロナが5類へと扱いが変更され今年はコロナ前とほぼ同じ規模の展示会となり、新商品や販売戦略の説明、大規模な試食などが実施されました。

冬に向けた品揃えのアイディアが浮かんだ」という方、プロの商品レイアウトを見て、まねしてみたい物があった」と早速新たなPOPを作成してくださった方など、参加者には大いに学びになったようです。

10月下旬より毎年恒例のクリスマスケーキ販促も本格化します。ケーキ販促に、この学びの成果を大いに発揮してもらいたいと思います。

結い　納涼会

9月2日（土）結いの納涼会をワークハウス・わくわく！、喜楽、ＯＢの方合わせて総勢約２０名で開催し楽しみました。

飲み物に焼きそば、唐揚げ、フランクフルト、スープなど食べ物が一杯、笑顔も一杯でした。

和気あいあいと食事を済ませお腹が膨らんだところで、まずはビンゴゲームをやりました。

次に新聞ちぎりゲームでは、2分間で一番長く切った人が優勝、上位の方には景品が当たるという事で皆さん必死で頑張っていました。

次のうそ・本当ゲームでは、色々な知識を得る事が出来ました。

最後は、優勝の方には、喜楽のお家DEごちそうチケット(1180円相当)をかけた高橋さんとみんなでじゃんけんゲーム！！

賞品目当てに皆さん真剣な顔つき。

じゃんけんの拳に熱が入っていました。大きな声で盛り上がり夏の暑さを忘れて楽しいひと時を過ごせました。

猛暑が続きそろそろ体の疲れが出てくる9月、この納涼会で元気を充電し英気が養われました。

ワークハウス・わくわく！のメンバーさん、喜楽のメンバーさんや職員の方等、一体となりとても有意義な時間を過ごす事ができました。

皆さんありがとうございました。

喜　楽

喜楽では、４月～10月までの期間6回に分けてソワニエ看護専門学校の3年生、川崎医療福祉大学から精神保健福祉士を目指すための実習生を受け入れました。

＊実習生の感想

わたしの願いは、ここに書いてある通り」嬉しく自信になりました。

実習では、メンバーさんの地域での生活を支えるということは、その方の人生の背景を知ることであることを学びました。

また、その方がB型事業所で働く意味について考えその意味を知るには、その方の人生を知りその人らしさが出てくるような視点をもって関わり、あるゆる可能性を考えながらお話を伺うことが大切であることを理解することができ、本当に貴重な機会となりました。

実習を通じてお話をきかせていただき私が考えたことを書いた紙をご本人様に見せながらお話をさせていただいた時に、『私の願いはここに書いてある通り』と言っていただけたことが印象にも残り、またうれしく自信にもつながりました。

12日間ありがとうございました。

＊利用者の感想

今回初めて学生さんが担当についてくれました。6日間一緒に仕事をしながらいろいろとお話をしました。たくさんお話を聞いてもらえてうれしかったです。

学生さんはとても素直でわからないことは聞いてくれ、お話がスムーズにできました。

最後に学生さんが作ったプランを見た時には私の仕事ぶりが丁寧で正確だと評価してもらい嬉しく思いました。

学生さんは将来いい職員さんになるだろうと思いますし、社会人になっても頑張ってもらいたいです。